

# DNP Report Vol.112

株主通信 (証券コード:7912)

## [特集]

## 成長領域を中心とした価値の創出 ~知とコミュニケーション~



# DNP

未来のあたりまえをつくる。®

# TOP MESSAGE

DNP独自の強みを掛け合わせ、  
多くのパートナーとともに、  
社会と人々に欠かせない  
価値を提供していきます。

代表取締役社長 北島 <sup>よしなり</sup> 義斉



「未来のあたりまえ」をつくっていくために

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

2023年3月期第2四半期(2022年4-9月)において、私たちを取り巻く状況は、国内でコロナ対策と経済活動の両立が進む一方で、原材料コストの上昇等によって製造業の景況感の悪化が続きました。海外の多くの地域でも、インフレと金融引き締めの影響や地政学リスクの一層の顕在化などによって、先行きの不透明感が強まっています。

そうしたなかでもDNPグループは、持続可能なより良い社会、より心豊かな暮らしの実現に向けて、社会の課題を解決するとともに、人々の期待に応える新しい価値の創出に取り組んできました。

私たちは常に、社会に貢献していくこと、人々の暮らしを豊かにしていくことを「志」として持ち続け、「未来の

あたりまえをつくる。」というブランドステートメントにその思いを込めています。事業ビジョンには、「P&Iイノベーションにより、4つの成長領域を軸に事業を拡げていく」ことを掲げ、独自の「P&I」（印刷と情報）の強みを掛け合わせ、多くのパートナーとの連携も深めて、社会や人々に欠かせない価値を提供していきます。「4つの成長領域」としては、「知とコミュニケーション」「食とヘルスケア」「住まいとモビリティ」「環境とエネルギー」を設定しています。

その中で特に、この「DNP Report」では、「知とコミュニケーション」に関する主な取り組みをご紹介します。

○企業等の業務を代行して働き方改革などにもつなげていく「BPO (Business Process Outsourcing) 事業」のほか、国内市場トップシェアのICカードや本人認証サービスなどの「認証・セキュリティ関連の事業」を推進しています。

○「教育関連の事業」としては、高等教育の高度化や生涯教育の促進に向けて、電子教科書・電子教材の開発、ネットを活用した各種サービスの提供、出版社や書店のデジタルトランスフォーメーション(DX)支援などに注力しています。

○「写真メディア・コトづくり」の分野では、米国・欧州・アジアの市場で写真の撮影・プリント用の部材と各種サービスが好調に推移しています。国内では、トップクラスのシェアを持つ証明写真機「Ki-Re-i」(キレイ)のネットワーク機能を活かして、マイナンバーカード交付の電子申請や、社員証等に使う顔写真の撮影・収集が効率的にできるサービスなどを拡大していきます。

ぜひ、次ページからの「特集」をご覧ください。

この第2四半期は、高い収益性と市場成長性を見込む「IoT・次世代通信」「データ流通」「モビリティ」「環境」関連の「注力事業」に経営資源を重点的かつ最適に配分するなど、一層の事業拡大に取り組みました。競争力強化のための構造改革にも取り組み、バランスの取れた

強靱な事業ポートフォリオの構築を進めています。

また、長期的な成長を支える経営基盤の強化に向けて、DXなどの大きな潮流を捉え、ICTを活用した生産性の向上や情報基盤の強化も推進しました。さらに、今年度制定した「人的資本ポリシー」のもと、価値創出の最大の原動力である「人への投資」を強化し、新しいマネジメントスタイルへの変革や、個の力を伸ばす人材育成などを加速させています。

当期間の連結業績は、売上高が前年同期比1.7%増の6,684億円、営業利益が10.5%減の275億円、経常利益が0.8%増の367億円、親会社株主に帰属する四半期純利益が17.4%減の279億円となりました。

DNPグループは、企業理念である「人と社会をつなぎ、新しい価値を提供する」ことに則り、変化が起きてから対応するだけでなく、自ら変革を起こしていくことによって、「未来のあたりまえ」の実現に挑戦し続けていきます。

今後とも一層のご指導とお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

#### 4つの成長領域における注力事業



## 【特集】成長領域を中心とした価値の創出 ～知とコミュニケーション～

### 情報処理関連のコア技術を活かし、多様な事業を展開

DNPは長年、企業や個人の重要情報を預かり、多様な事業を展開するなかで、印刷工程のデジタル化にも1970年代から取り組んできました。情報セキュリティや画像処理、メディア変換やデータ分析等の技術も独自に発展させています。近年は特に人々のコミュニ

ケーションの在り方が変化し、新しい働き方や生活様式が生まれています。それに対して、印刷プロセスで培った技術と営業・企画・製造等のノウハウ、パートナーの強みなどを掛け合わせ、DNPならではのデジタルトランスフォーメーション(DX)を推進しています。

### 人々の「知」を支え、出版文化の発展に貢献

電子書籍と紙の本を購入できるECサイトや、丸善・ジュンク堂書店のリアル店舗などを連動させたハイブリッド型総合書店「honto」の事業などを推進しています。図書館の受託運営や電子図書館サービスなども展開し、多彩なチャンネルを通じて生活者の「知」を支えています。



ハイブリッド型総合書店「honto」

## 注力事業

### BPO

#### ■ 多様な業務課題に対応したサービスを展開

BPO(Business Process Outsourcing)事業では、国内外の拠点での24時間・365日の対応に加え、AI(人工知能)やRPA\*等の最新技術の導入を進めています。人手不足や働き方改革、事業継続計画(BCP)への対応など、社会的な需要の拡大に対して、より効率的かつスピーディーに、企業・団体等の業務課題の解決をサポートしています。

※RPA(Robotic Process Automation):AIを活用したロボット(ソフトウェア)による業務自動化



BPO事業(イメージ)

### 認証・セキュリティ

#### ■ 高度な技術や基盤によって欠かせない存在に

DNPは、高度な認証・セキュリティ関連技術やシステム基盤を構築・運用し、国内トップシェアのICカード事業などを展開しています。セキュリティゲートや監視カメラなど、オフィスや工場への物理的セキュリティの提供や、サイバー攻撃に対応できる人材の育成にも努めています。また、デジタルキー等による「モノの認証」や顔認証等による「ヒトの認証」のサービスを中心に、情報関連と物理的な側面を掛け合わせた強固なセキュリティ環境を多様な業界に提供しています。



商標登録申請中



本人認証サービス

### 教育関連

#### ■ ICTを活用した教育関連事業の拡充

教育関連の分野では、動画・音声等を活用した電子教科書・教材等の制作から、配信システムの提供・運用などまで、幅広い事業を推進しています。また、多くの出版社と大学・教科書販売会社・書店をネットワークで結び、教員等が各種教科書・教材を容易に選書できるサービスも開発・提供しています。



ICTを活用した学習支援システム

## コアテクノロジー [情報コミュニケーション部門]

### 情報セキュリティ技術

個人を特定する認証や、安全にデータを授受するための暗号化などを発展させた技術。

### メディア変換技術

さまざまな情報媒体に合わせて、テキストや図版等のデータを最適な形式に変換する技術。



### 画像処理・認識技術

静止画や動画等を適切かつ高精度に加工する技術や、対象となる画像データから人物や景色等を識別する技術。

### データ分析技術

生活者の情報サービス利用動向や購買記録、天気などのデータを抽出・整理して、一定の目的に沿って加工する技術。

## ハイブリッドマーケティングの推進による事業規模の拡大

リアルとデジタル双方の販売チャネルでの生活者情報等を活用し、一人ひとりに最適な情報を最適なメディアとタイミングで提供していきます。企画から制作・運用まで、顧客企業のマーケティング全体に参画し、企業と生活者の最適なコミュニケーション施策を設計して、顧客体験価値(CX:Customer Experience)の最大化を図ります。



リアルとバーチャルの空間を融合する「PARALLEL CITY® バーチャル秋葉原」

### 写真メディア・コトづくり

DNPはコーティング等の印刷技術をもとに開発した昇華型熱転写記録材で、世界トップクラスのシェアを獲得。写真の楽しみ方が時代とともに変化するなかで、写真プリント等に使うこれらの製品や各種サービスを強みとして、フォトイメージング事業を展開しています。近年は特にスマートフォンやSNSの広がりによって、プリント(モノ)だけではなく体験(コト)の価値に対する生活者ニーズが高まっています。それに対してDNPは、撮影から加工・プリント販売まで行うサービスや、クラウド型の画像販売サービスなどを、高セキュリティな体制で個人情報を守りながら幅広く提供しています。



昇華型熱転写メディア

## DXを推進し写真撮影に関連する新しいサービスの展開を加速

日本全国に設置されている証明写真機「Ki-Re-i」をネットワークでつなぎ、公的な証明書や各種資格証などの電子申請業務を支援します。社員証等の作成にも、「Ki-Re-i」で撮影してネットワークで収集した顔写真を使うなど、用途の拡大に努めています。またテーマパークやイベント会場等で、生活者が写真を一層楽しめるような、体験価値を高める各種サービスを国内外で提供していきます。



写真関連サービス・ソリューション

### TOPIC

2022年10月24日発表

### マイナンバーカードを申請できる証明写真機を全国で30%増やして8,500台規模に！ [ID-Spot]2,000台を追加し、国内トップクラスのシェア獲得へ

DNPグループは、「Ki-Re-i」に続く証明写真機の新たなラインアップとして、「ID-Spot」約2,000台を2022年11月～2023年9月に、国内に順次展開していきます。これによって、DNPが日本全国に設置する証明写真機は約9,400台となります。このうち、マイナンバーカードの申請などが可能な、ネットワークに接続した証明写真機が8,500台と全体の90%になり、国内トップクラスのシェアを獲得していきます。



証明写真機「ID-Spot」

## Pickup News

2022年10月3日発表

### 「みどころシリーズ」が「good digital award」アート部門の部門最優秀賞を受賞 “新しい文化体験”を通じて文化財の持続的な価値創出に貢献

DNPコンテンツインタラクティブシステム「みどころシリーズ」が、デジタル庁主催の2022年度「good digital award」\*のアート部門の部門最優秀賞を受賞しました。DNPは独自の「P&I(印刷と情報)」の強みを活かして、MLA (Museum: 美術館・博物館 / Library: 図書館 / Archives: 文書館) の所蔵作品・資料をデジタル化し、人々に感動を与え、文化財等の知識を深めるコンテンツとして提供するデジタルアーカイブ事業に取り組んでいます。その一環で開発・運用している「みどころシリーズ」は、文化財等の高精細なデジタルデータと、MLAの多様な知的情報である「みどころ」を掛け合わせた新しい鑑賞システムのラインアップです。

「みどころシリーズ」を通して、多くの人々に文化財やアート作品等への興味のきっかけを提供することで、テーマや関係性等の多様

\* good digital award : 「誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化」に貢献する個人や企業・団体の取り組みをデジタル担当大田等が表彰する制度です。「スタートアップ」「アート」「エンターテインメント」「教育」等の9部門があり、社会性・発展性・継続性の観点で評価をします。



な視点で知識を広げることが可能となります。作品等の現物がない場所でも、仮想的に作品を手取るような鑑賞ができるなど、“新しい文化体験”によって、文化財のさらなる価値の創出につながっていきます。パリのフランス国立図書館(BnF)のほか、国内外のさまざまなMLAに「みどころシリーズ」を導入しており、今後さらに対象を拡大していきます。



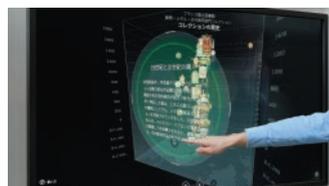
みどころグラス®



みどころビューア®



みどころウォーク®



みどころキューブ®

◎「みどころシリーズ」など、文化財のデジタルアーカイブ事業については、以下のURLをご覧ください。

[https://www.dnp.co.jp/biz/theme/cultural\\_property/index.html](https://www.dnp.co.jp/biz/theme/cultural_property/index.html)



©DNP Dai Nippon Printing Co., Ltd. 2021, with the courtesy of the Bibliothèque nationale de France.

2022年10月4日発表

### 企業の環境配慮の取り組みを支援する専門チーム 「DNP GREEN PARTNER」を新設

近年、環境配慮や持続可能性の向上に関する企業への期待が高まるなか、多くの企業が多様な取り組みを加速させており、各社の戦略や施策の立案・設計、情報開示などをより効果的に行いたいというニーズが高まっています。こうした要望に対してDNPは、自社で環境配慮の活動を推進してきたノウハウや多様なソリュー

ションを部門横断で掛け合わせ、企業を総合的に支援する体制として「DNP GREEN PARTNER」を新設しました。「環境と事業をつなぎ、ともにより良い未来へ。」というステートメントを掲げ、長期的にわたって環境と事業が共生していくための多様なサービスを企業に提供して、課題の解決に取り組んでいきます。



2022年10月25日開催

### 機関投資家・アナリスト向けに「サステナビリティ説明会」を開催

DNPのESG(環境・社会・ガバナンス)関連の取り組みについての理解を深め、中長期視点での対話の一助としていただくことを目的に、機関投資家・アナリストの皆さんを対象とした「サステナビリティ説明会」(電話会議)を開催しました。持続可能なより良い社会、より心豊かな暮らしを実現していくための経営の考え方・方針、人的資本や知的資本の強化、環境関連の取り組みなどについて対話を行いました。

参加いただいた方々からは、「人的資本について、価値関連性分

析やKPI設定等の価値向上の取り組みがわかりやすかった」「知的資本では、特許保有強化の戦略やバッテリーパウチ事業の紹介が良かった」などの感想がありました。また、「次回はガバナンスについて聞きたい」など、今後に向けた要望もいただきました。

◎プレゼンテーション資料や質疑応答要旨は、以下のURLをご覧ください。

<https://www.dnp.co.jp/ir/library/presentation/index.html>



# 2023年3月期第2四半期決算のご報告 (2022年4月1日～2022年9月30日)

## 連結業績の概況 (単位:億円)

科目	当第2四半期	前第2四半期
売上高	6,684	6,571
営業利益	275	308
経常利益	367	364
親会社株主に帰属する 四半期純利益	279	338

## 連結業績の予想 (単位:億円)

科目	2023年3月期通期(対前期増減率)
売上高	13,800 (+2.7%)
営業利益	670 (+0.3%)
経常利益	815 (+0.3%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	670 (△31.1%)

1株当たり当期純利益250円52銭

### 連結売上高



### 連結営業利益



### 連結経常利益



### 親会社株主に帰属する当期純利益



### 連結貸借対照表(要約) (単位:億円)

科目	当第2四半期 連結会計期間末	前連結会計年度末
資産の部	18,152	18,766
流動資産	7,757	8,048
固定資産	10,394	10,718
負債の部	6,776	7,282
流動負債	3,802	4,061
固定負債	2,973	3,221
純資産の部	11,376	11,484

### 印刷事業



写真プリント用 昇昇型熱転写記録材



リチウムイオン電池用バッテリーパウチ



半導体用フォトマスク

### 飲料事業



飲料

### 情報コミュニケーション部門

売上高	3,478億円
前年同期比	2.7% 増
営業利益	94億円
前年同期比	4.0% 減

マイナンバーカードや、写真の撮影・プリント用の部材とサービスなどが増加した結果、増収・減益となりました。

### 生活・産業部門

売上高	1,927億円
前年同期比	0.8% 増
営業利益	27億円
前年同期比	66.8% 減

車載向けリチウムイオン電池用バッテリーパウチなどが増加し、原材料高の影響により、増収・減益となりました。

### エレクトロニクス部門

売上高	1,044億円
前年同期比	0.8% 減
営業利益	257億円
前年同期比	8.7% 増

ディスプレイ関連製品が減少したものの、半導体製品の製造用フォトマスクの増加により、増収・増益となりました。

### 飲料部門

売上高	243億円
前年同期比	5.9% 増
営業利益	1億円
前年同期比	89.2% 増

原材料高による大型PETボトルの価格改定や、量販店・ウェブサイトでの販売増により、増収・増益となりました。

## ■ DNPのウェブサイトのご案内

当社ウェブサイトでは、最新ニュースやIR情報など当社をご理解いただくためのさまざまな情報を提供しています。



〈トップページ〉



〈IR情報トップページ〉

### ● DNPのウェブサイトURL

トップページ → <https://www.dnp.co.jp/>

株主通信「DNP Report」はこちら → <https://www.dnp.co.jp/ir/library/dnp-report/>

## 会社情報

商号	大日本印刷株式会社 (Dai Nippon Printing Co., Ltd.)	設立年月日	1894年(明治27年)1月19日
本社所在地	東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号	資本金	1,144億6,476万円
ウェブサイト	<a href="https://www.dnp.co.jp/">https://www.dnp.co.jp/</a>	発行済株式総数	317,240,346株 (自己株式 50,534,922株を含む)
創業	1876年(明治9年)10月9日	株主数	27,951名(2022年9月30日現在)

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会開催時期	6月
上記総会における議決権の基準日	3月31日 その他必要のある場合は、取締役会の決議によりあらかじめ公告して設定します。
剰余金の配当基準日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告方法	電子公告により行います。(当社のウェブサイト <a href="https://www.dnp.co.jp/ir/">https://www.dnp.co.jp/ir/</a> ) ただし、事故その他やむを得ない理由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

### 株式事務に関するご案内

#### 1. 住所変更、配当金受取方法の変更等のお問い合わせ先、お手続き窓口

- 証券会社等に口座をお持ちの株主様  
株主様が口座を開設されている証券会社の本支店
- 証券会社等に口座を開設されていない株主様(特別口座)  
(お問い合わせ先) みずほ信託銀行 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
フリーダイヤル 0120-288-324(土・日・祝日を除く 9:00~17:00)  
(お手続き窓口) みずほ信託銀行 本店および全国各支店(トラストラウンジを除く)  
※ご転居の際には、住所変更のお手続きを、必ずお願い申し上げます。

#### 2. 未払配当金のお支払窓口(払渡し期間経過後の配当金領収証によるお受け取り)

- (お支払窓口) みずほ信託銀行 本店および全国各支店(トラストラウンジを除く)  
みずほ銀行 本店および全国各支店

#### ※単元未満株式に関するお知らせ

100株に満たない株式(単元未満株式)を所有されている株主様が、当社に対しその単元未満株式と合わせて1単元(100株)になる数の株式を買増請求できる「単元未満株式の買増制度」を導入しております。また、単元未満株式の買増請求につきましても、お取り扱いしております。

### ● 株主通信「DNP Report」に関するお問い合わせ先

大日本印刷株式会社 IR・広報本部 IR室

〒162-8001 東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号 TEL : 03-3266-2111(大代表)

※株主通信は、DNPの事業ビジョンや業績に関する情報の提供を目的としています。  
記載された意見および予測は、作成時点でのDNPの判断に基づいたもので、これらの情報の完全性を保証するものではありません。  
※記載されている会社名、製品・サービス名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。